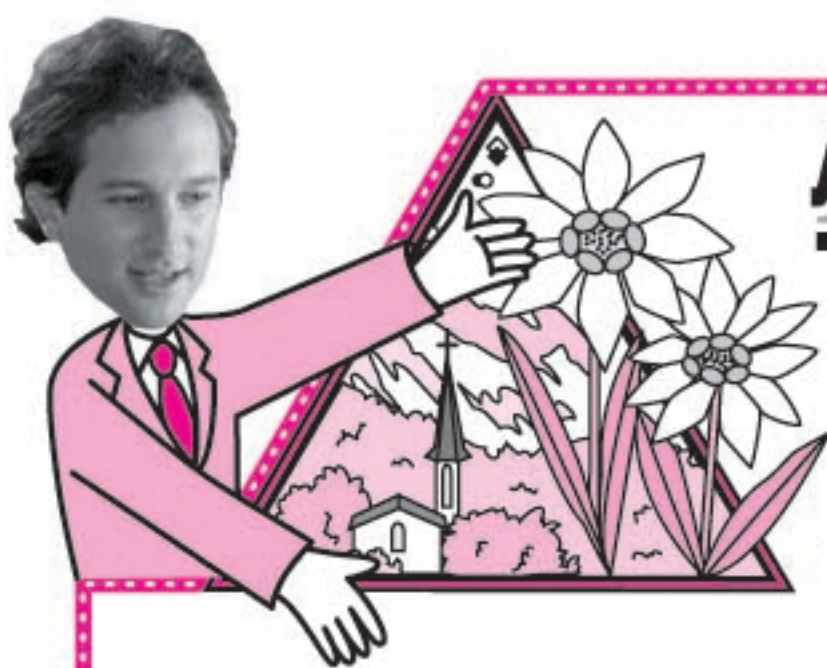




クリストフ・ソーターの「ビヤーンヴェニユ・アッ・スイス」

スイスの小学校

鏡野町に来てから小学校をよく訪問し、日本の小学校の仕組みに慣れてきた反面、逆にスイスの小学校の仕組みを忘れたように感じます。それで、今回はスイスの小学校の教育制度について、皆さんに紹介したいと思います。

スイスの教育制度は日本の教育制度とよく似ていて、クラスの分割は下記の通りです。

- 幼稚園： 2年（4歳～6歳）
- 小学校： 6年（6歳～12歳）義務教育・無料・国立と私立がある。
1クラス平均20名。
- 中学校： 3年（12歳～15歳）義務教育・無料・国立と私立がある。
一クラス平均20名。
- 高校： 4年（15歳～19歳）又は、3年。科目により異なる。

小学校の教育制度

スイスは各州が独立している連邦国家であるため、教育制度は州によって少し異なります。州と国は互いに協力をしますが、州は教育の全責任があり、国はそれぞれの州の教育レベルが十分であるかどうかを監督します。補習授業以外の小学校の仕組みはスイスの全国で同じです。小学校は義務教育で、授業料は全国で無料です。私立学校もありますが、生徒はほとんど国立学校に通い、1クラスの生徒数は平均20人です。通常は1クラスの生徒が同じ年齢ですが、田舎の人数が少ない学校では異なった年齢の生徒と一緒に勉強し、2歳から3歳の年齢差がある場合もあります。日本の複式学級と同じです。田舎の学校と都会の学校の生徒数の差が大きく、田舎では生徒がおおよそ10人しかいない学校があったり、都会では何百人もいる学校がほとんどです。



スイスの小学校の教室

小学校の学年は8月末から始まり、7月初めに終わり、入学式と卒業式の式典の内容は日本と全く違います（くわしくは19年9月号の広報かがみのをご覧ください）。州によって学年の期間は36.5週と40週と異なります。休日は水曜日の午後と土・日曜日で、最も長い休みは夏休みです（州により5週間から9週間まで）。昼休みは2時間あり、大部分の生徒が家に帰って親と一緒に食べますが、家が遠かったり、親が仕事で帰らない場合があるので、学校の食堂で昼食を取る生徒もいます。その場合は親が昼食費を払います。授業時間は日本と違い、午前8時15分から11時30分までの間に20分の休憩があり、午後1時30分から4時までの間に15分の休憩時間があります。制服が無く、生徒は私服を着て学校に通い、私立学校だけは制服を着ます。

学校の教育方針

教育方針の決定は州の権限です。数学と外国語と母国語以外に、小学校の先生は授業の内容をかなり自由に決めることができ、原則として担任の先生は全ての教科を教えます。ちなみに担任の先生は、専門とする教師に補佐される場合があります（例えば体育とか芸術など）。それぞれの州は教育方針と教科書を個々に選択できます。

大多数の小学校はテストの点数によって生徒を評価し、生徒は年に3回成績表をもらいます。年内の成績の平均で、生徒の進級が決定され、成績の平均が不十分である場合は落第します。さらに、落第しても翌年に進級できそうもない生徒がいる



私の通っていたウゴ・デ・センゲル小学校

場合は、特別なクラスに集められていますけれど、現在の傾向はできるかぎり勉強が苦手な生徒も普通のクラスで学ばせるようにしています。

スイスの小学校のことが少しお分かりいただけましたか？私にもとてもいい勉強になりました。スイスに帰ったら、鏡野町の小学校のことを紹介したいと思いますので、また新しい体験をさせてください。

最後に、フランス語の言葉です。「Après vous アプレ ヴ」は「どうぞお先に」を意味します。

では、また来月によりしくお願いします。

ごみの減量化にご協力ください

ごみをできるだけ出さない社会をつくるための基本的な考え方。ごみ減らしのポイントは3つのRです。

ごみを減らすために必要なこと、それがこの、**Reduce**（リデュース）減らす、**Reuse**（リユース）再使用、**Recycle**（リサイクル）再生利用。ごみを減らすことと資源を有効に利用することに役立ちます。

●リデュースとは「減らす・縮小する」という意味。

家庭から出るごみを減らすこともそうですが、それ以前にすぐにごみになるものは買わない・持ち込まないこともリデュースです。

ムダなごみをなくす方法の実践をお願いします。

●リユースとは今あるものをできる限り利用する。たった1枚のぞうきんでも、元は貴重な資源からつくられたもの。最後の最後まで利用しつくすことこそ、資源に対する恩返しです。

●リサイクルとは「不用になったものを原料に戻し、新しい製品として再び利用すること」

リサイクルには費用も、新しい資源も必要です。ですから、リデュースして、リユースして、そして最後にリサイクル。また、リサイクルしてできた商品（再製品）をみんなで使うこともリサイクルの輪をとぎれさせないために大切なことです。



お問い合わせ：鏡野町役場 町民環境課 ☎0868-54-2984